

展示室だより  
No.1

# ＝ 美女の履歴書 ＝

日本考古学界の人気ランキングNo.1は土偶であろう。縄文美人の怪しげなまなざしと豊かな肢体は、現代人を摩訶不思議な“縄文ワールド”へと導いてくれる。

今日は、郡山生まれの美人土偶をふたり紹介しよう。まずは、素顔を仮面で隠した“すまし顔”の美女から。彼女は今から4700年前の生まれというから相当熟年だが、肌にはシワひとつなく、しとやかな胸元には張りがある。妊娠6カ月とも、産み月とも見られるぶっくりお腹が魅力的で、その上にポソソとつけたデベソも可愛らしい。豊満なお尻の後姿も見逃せないが、彼女は身長14.5cm、体重267gとたいそう小柄なのだ。

この娘は、阿武隈川を見下ろす高台、富久山町堂坂の曲木沢遺跡から平成元年に見つかった。胴体でふたつに割られ、食糧をたくわえていた穴の底に置かれていた。どうやらこの年代の縄文人は、妊娠した女性の姿を再生の女神に見立て、身体を分割することで食糧となる動植物のさらなる恵みを祈っていたようだ。

もうひとりの美女は、黒石川の岸辺、田村町細田の割田A遺跡から平成5年に見つかった。左手と下半身を打ち欠いた状態で、おとなを埋葬したお墓の上に置かれていた。この年代の人々は、亡くなった近親者のよみがえりを願い、土偶を割って供えていたようだ。残りの



曲木沢遺跡土偶

割田A遺跡土偶

破片もムラの周囲や、むかし暮らしていた別なムラなどにまき、近親者の確かな再生を祈ったのだろう。

この娘は曲木沢土偶の1000年後、とぼけ顔の荒小路土偶と同じ年代に作られた。目鼻立ちのはっきりしたゴージャスな作りのハート形土偶で、顔の長さが9cmもある。“顔デカ”だが、実は彼女、身体の欠損部を復元すると、日本一体格の良いハート形土偶になりそうなのだ。

間もなく、展示室に荒小路のとぼけた女神がやってくる。曲木沢のすまし顔、割田Aのエキゾチックな顔立ち。この冬、美の競演は激しさを増しそうだ。



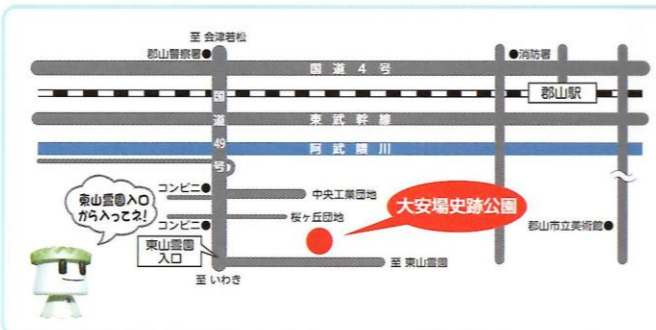
土偶の出土状況

## 大安場史跡公園 発行：平成24年12月20日

- 住所：福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地
- TEL.024-965-1088 ●FAX.024-965-1090
- Mail.oyasuba@bunka-manabi.or.jp
- 休館日：月曜日（月曜日が祝日の時は次の休日でない日）
- ※12/25・1/7は開館いたします。
- ※公園は年中無休です。

ホームページも  
チェック!

大安場史跡公園 検索



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。



Vol.15

平成24年度身近な遺跡の展示会

# 荒小路土偶・思い出の旅

平成24年12月22日(土)～平成25年2月24日(日)開催

## ハート形土偶がやってくる!!



※名前  
ハート形土偶

※生まれ  
荒小路遺跡

※誕生年  
縄文時代後期

※特徴  
顔が♡の形(顔の輪郭を表しています)

※身長 17.7cm

※分布  
阿武隈山系

昭和59年に郡山市谷田川荒小路から出土した「ハート形土偶」。この土偶は、腕はないものの、身体のほとんどの部分が残ったまま出土した貴重な資料です。

これまで郡山市で見る機会が少なかった荒小路の「ハート形土偶」ですが、実物から忠実に型を取り、復元しました。これからは生まれ故郷、ここ田村町で見ていただくことができます。今回は実物も登場します。どちらが本物がじっくり見てみましょう。



# 荒小路遺跡とは?



発掘の様子

郡山市田村町谷田川字荒小路にある縄文時代の遺跡です。国の農地開発事業のため、昭和59年に発掘調査が行われました。調査では、16軒の住居跡が見つかりました。そのうちの4軒が細かく調べられ、いつの時代なのか、どこが入口か、どこで火を焚いていたかなどがわかりました。この住居は縄文時代の「**竪穴住居**」と呼ばれています。

住居跡だけではなく、土器や石皿などの生活に使われてきたもの、祈りの時に使われる土偶が発見されました。



荒小路遺跡

遺跡のすぐ近くに谷田川が流れてるから、ここで魚を取っていたみたい。森が近くにあって、木の実なども豊富に取れたよ。当時の様子を想像してみよう。



# 土偶ってナニモノ?



縄文時代に土で作られた人形です。土偶は女性だと言われていました。縄文時代の人たちは、この土偶に「子孫繁栄」・「安産」・「再生(生まれ変わり)」を祈っていたと考えられています。生命をとっても大切に、神秘的な考えを持っていたのです。新たな命を産みだすのは「女性」。そのため、生命に関わるお願いに、「女性」をかたどった土偶が使われてきたのでしょうか。

人々は土偶をお願いごとをした後に、この土偶を壊していました。自分の身代りに壊していたという説や、新しい生命を数多く誕生させるためだという説があります。土偶の顔や足の部分がバラバラに出てくるのはこのためなのかもしれません。



# ハート形土偶の旅行記



平成13年に白河市にある福島県文化財白河館センターまほろんに収蔵されました!!



イギリスから帰ると東京国立博物館に展示されました!!

ワタシが郡山にいないのは、なんでだと思う? 遺跡の場所が郡山でも、「県」の事業で発掘をしたから、そこで発見された土器や土偶などの遺物は、「県」で管理されているんだよ。



大英博物館にも展示されました!!  
平成21年にイギリス大英博物館「THE POWER OF DOGU」に展示されました!!

# ハート形土偶のレプリカを作成したよ



型取り前



色付け作業

郡山市で会うことがほとんどできなかったハート形土偶ですが、本物に近いレプリカが完成しました!

これからは、大安場史跡公園で会うことができます! どっちが本物かわかるかな??



完成!!

# 「土偶を想像しよう」イラスト展開催!!



荒小路遺跡で出土した、バラバラ土偶...もともとはどんな姿をしていたのか子どもたちが想像し、イラストに描いてくれました!!! 人気投票の結果は情報誌で紹介するので、お楽しみに☆

